

登録コード	TSC28600	開講年度	2026				
授業科目	化粧品科学特別実験Ⅱ					担当教員	酒井 俊郎
英文授業名	Experiment in Cosmetic Science 2					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	物質化学分野2年生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力
(2)授業の概要	3種類の応用テーマについて実験を実施し、結果を報告書にまとめると共に、プレゼンテーションを実施する。						
(3)授業計画	化粧品の設計・処方と物性・性能評価に必要な操作を習熟するため、下記の実験・実習を行う。 1) 化粧品の調製実験（4～6月）：エマルション、クリーム、パウダー系など 2) 化粧品の物性評価（7～9月）：紫外可視吸収スペクトル（UV）、粒子径分布、ゼータ電位、X線回折（XRD）、表面積・細孔分布、フーリエ変換赤外分光分析（FT-IR）、走査型電子顕微鏡分析（SEM）など 3) 化粧品の性能評価（10～12月）：肌分析、毛髪診断など 4) 研究のまとめ（1～3月）：レポート（和文・英文）作成およびプレゼンテーション						
(4)成績評価の方法	レポート（70点）とプレゼンテーション（30点）により成績を評価します。評価は、秀（S）：90－100点、優（A）：80－89点、良（B）：70－79点、可（C）：60－69点、不可（D）：59点以下とします。						
(5)成績評価の基準	評定については、次の評価基準を基本としている。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している。 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある。 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある。 可：授業の達成目標の水準にある。 不可（D）：授業の達成目標の水準よりやや下にある。 不可（F）：授業の達成目標の水準にない。 (i)課題の目的が十分理解できており、(ii)その課題を適切な資料を用いて調査できており、(iii)その調査結果を簡潔かつ適切にまとめることでできており、(iv)それらの調査結果から当該分野における問題点や課題などが指摘されており、(v)その上で自分の見解を提示できており、かつ、(vi)教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前調査、プレゼンテーション資料の作成、課題に対するコメントへの対応						
(7)履修上の注意	なし						
(8)質問,相談への対応	質問、相談には時間の許す限り応じる。メールにより、事前に連絡をとり、来室することが好ましい。 場所：物質化学科南棟(W8)3階308号室 メールアドレス：tsakai@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他	なし						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						